

【ソフト名】 SST G1 アップデートインストーラ

【対象製品】 SST G1 Ver1.1 日本語版

【登録名】 G1 Update 2.0.0.34.exe

【著作権者】 株式会社カンバス

【動作環境】 Microsoft Windows2000 / XP / Vista / 7 日本語版

【配布条件】 1) ダウンロードしたファイルの再配布を禁止します。
2) 他のメディアへの一切の転載を禁止します。

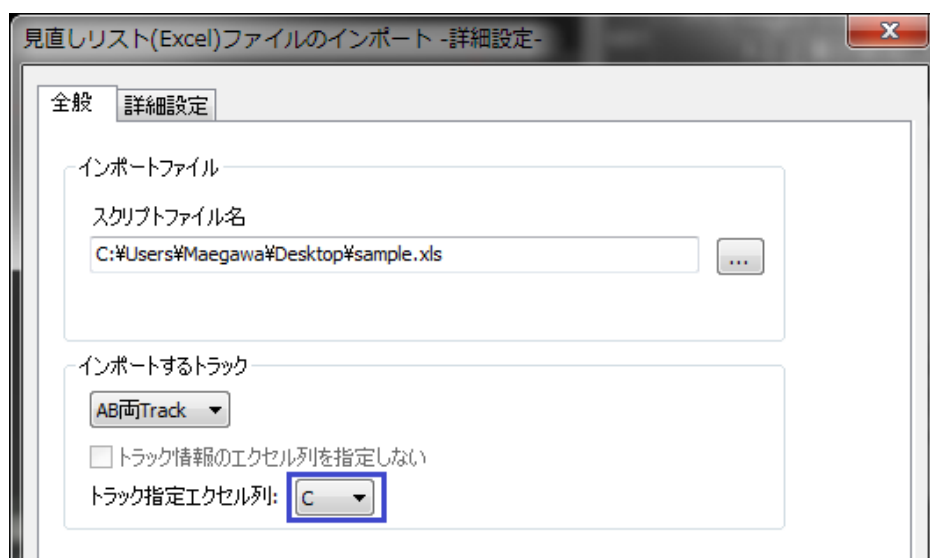
【ソフト紹介】

本ソフトウェアは、SST G1 日本語版用アップデートインストーラです。

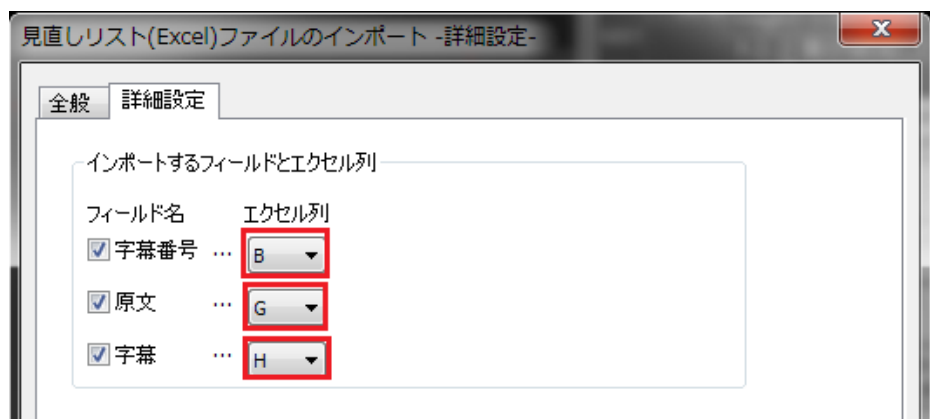
【変更点】 <Ver.2.0.0.34> 2011.5.20

一 見直しリスト (Excel) の文字情報をインポートする機能を追加しました。

エクセルの見直し用リストは、エクスポート時の出力項目の設定により各情報の出力される列が変化しますので、インポートする際に、どの列をどの情報として取り扱うのか指定します。



画面①



画面②

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	No.	字幕番号	トラック	表示開始時間	表示終了時間	表示時間	原文	字幕	文字数	斜作
2	1	1	A	00:17:19:11	00:17:23:21	00:00:04:10	An intense spy battle has been	ある企業が開発した	9	
3	2	2	A	00:17:23:24	00:17:24:29	00:00:01:05	developed by an unmanned co	謎のディスクレー	8	
4	3	3	A	00:17:25:01	00:17:27:20	00:00:02:19	The full truth about the con	「コードS」	6	
5	4	4	A	00:17:27:26	00:17:31:22	00:00:03:26	however, several countries	このディスクをめぐり	10	
6	5	5	A	00:17:31:26	00:17:37:02	00:00:05:06	The battle lasted for severa	複数の国による	7	
7	6	6	A	00:17:37:15	00:17:40:04	00:00:02:19		スパイ戦が行われていた	11	
								全容は明らかではなかったが	13	
								各国が火花を散らし	11	
								攻防は数カ月及んだ	10	

画面①、画面②の設定に従って、上記の列がインポートされます。

読み込む列の指定を変更することで、原文と字幕を入替えたり、他の列に入力した別言語の翻訳テキストをインポートする事も可能です。

※上記のエクセル画面は、見直し用リストで全項目出力した際の配列です。

※エクセルの仕様に従い、見直し用リスト（エクセル）をエクスポートする際は、ルビは「ひらがな」もしくは「カタカナ」の何れかに統一して出力されますのでご注意ください。

ー カスタムリスト機能（インポート／エクスポート）を廃止しました。

エクセルのインポート機能を追加したことにより、運用上問題が多かったカスタムリスト機能を廃止しました。

ー 「字幕番号入力欄」「インポイント／アウトポイントインジケータ」「デュレーション・インジケータ」にフォーカスを移した場合に、IMEをOFFする（半角文字入力にする）様にしました。

ー 個別カーニング／レディングの設定情報を見直しリスト（Excel）に出力する様にしました。

「フォーマット設定」でカーニング／レディングを設定しても、見直しリストには出力されません。

「高等編集機能」を用いて「フォーマット設定」と異なる値に設定した字幕のみ出力されます。

ー Canopus EDIUS Pro 5用エクスポートのオプション名を Canvass Open Subtitle file format に変更しました。

使用方法は今まで通り変更はありません。

このフォーマットで出力した字幕データは、EDIUS Pro 5以外で下記のシステムにインポートする事が可能です。

AVID：リアルタイム・ノンリニアテロッパー NoLio

Capella Systems：ファイルコンバートソフトウェア Cambria FTC

ー BDシナリスト用エクスポートで、フレームレートと画面サイズの組み合わせで一部対応できないパターンがある問題を修正しました。

ー 「設定」 > 「画面調整」で「マスターテープ」が4:3 LetterBoxに設定されているにも関わらず、「目的モニタ」をユーザ定義サイズに設定すると、スクイーズの復元処理になってしまう問題を修正しました。